

科目名称	法律学					ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)
英文科目名称	Law					グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(○)
科目コード	512101	授業形態	講義	単位数	2				
教員氏名	土田 博		年次配当	1 年次	前期	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
実務経験教員担当	有・無		アクティブラーニング			有・無			
授業概要 及び授業方法	<p>私たちの生活は「法」を基盤とする社会の中にあります。その意味において法的感覚（リーガルマインド）を有することは当然に必要と言えます。この授業では民法における家族法を中心に学んでいきます。民法は私たちが社会生活を送る上で、私人間（しじんかん）のことを規定する私法の中でも最も中心となる法律です。テキストをしっかりと読み込むとともに論点について検討していきます。なお、裁判員裁判に備え、裁判所での裁判の傍聴を予定しています。</p>								
関連する科目	「憲法」「民法」「商法・会社法」					卒業認定(学習成果)との関連	①, ③		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法律学入門。わが国の法体系について 2. 私法と公法の意味。家族法総論 3. 婚姻に関する法律（結婚の意思、結婚の取り消し） 4. 結婚に関する法律（離婚） 5. 婚姻に関する法律（夫婦の財産） 6. 親子に関する法律（嫡出子と非嫡出子） 7. 親子に関する法律（認知） 8. 親子に関する法律（親権） 9. 宮崎地方裁判所における裁判傍聴 10. 相続に関する法律（相続人の範囲） 11. 相続に関する法律（単純承認と限定承認） 12. 相続に関する法律（遺産分割） 13. 遺言に関する法律（遺言の方式） 14. 遺言に関する法律（遺贈、遺留分） 15. 相続と税金 								
授業時間外の 学 習	判例や新聞等の記事を調べ、課題についてレポートを作成する。 予習・復習をしっかりと行う（1時間程度は必要）。								
授 業 の 到 達 目 標	わが国の法体系を理解するとともに、法律条文を理解する。 社会生活を営む上での基本的法律知識を修得し、自ら考えることができる法的思考を身につける。								
課題に対する フィードバック	適宜判例に対する解説を行う					評価方法・基準	定期試験60%、小テスト20%、課題提出20%		
テ キ ス ト	尾崎哲夫著「はじめての親族相続」自由国民社、(1,200円+税)								
参 考 書	六法								
備 考	特になし								